

ふれあい情報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)

■発行人 羽山 治美 ■編集人 林 道寛

■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

TEL:03-5295-0507 FAX 03-5295-0541

e-mail taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年7月22日(月) 第147号

退職者連合

第17回定期総会を開く

“全力で高齢者の生活を守る” 宣言採択

退職者連合は7月11日、都内・千代田区の連合会館で第17回定期総会を開き、2013年度の運度方針や対政府要求などを決めました。

参議院選挙の最中に開かれた総会には、役員や代議員など全国から約200人が参加して、活発な議論を行ないました。今期は役員改選があり、再任された阿部保吉会長を先頭に、選出された役員による新幹事会体制がスタートしました。また採択された2013年度対政府要求については、総会后ただちに政府への要請を行うことが確認されました。来賓としては、連合本部の南雲弘行事務局長、民主党の大畠章宏代表代行(衆議院議員)、社会民主党の吉田忠智政策審議会会長(参議院議員)がそれぞれあいさつしました。

総会は最後に「退職者連合は、どのような政治情勢になろうとも自らの要求を大切にし、日本の社会保障制度を守り、高齢者の生活を守るために全力をつくす」(要旨)との総会宣言を満場一致で採択しました。

自民政権との闘いは対抗軸を明確にして

総会の冒頭、主催者あいさつした阿部保吉会長は、3.11東日本大震災に触れ「震災復旧が進まず、被災者の多くの方が今日もお避難生活をされている。



△総会で2013年度運動方針案を提案する羽山治美事務局長(11日、連合会館)

地震・津波からの復旧・復興、原発事故からの再生は、これからが勝負。風化させることがないように支援していきたい」と述べました。また総会が参議院選挙の最中にあることにも触れ、「これからの日本の進路を決定づける重要な選挙」とした上で、総力戦で産別組織内候補の必勝と選挙区候補を含む連合推薦候補の必勝を期すと檄をとばしました。

さらに会長は、自民政権の経済政策が高齢者の生活を直撃していると警鐘を鳴らし、雇用の確保、格差の解消、社会保障制度の改善、TPP問題や原発とエネルギー政策、憲法改悪反対などの具体的課題を対抗



阿部保吉会長

軸として闘うことを訴えました。あわせて退職者連合の政治的・社会的影響力を高めるためには、組織拡大が重要だとし「1000万連合の取り組みと連携した退職者連合300万組織達成に向けたさらなる取り組み」を強調しました。

とくに現在、現退一致で連合と進めている「現退対話行動」について中央・地方での取り組みをあらためて要請しました。

来賓あいさつ(要旨)

組織拡大で共にならぼう

連 合
南雲 弘行 事務局長

連合は10月に第13回定期大会を開く。そこでは1000万連合実現に向けて態勢の強化や人材育成、広報の強化をはかっている。組織拡大に向けて退職者連合のみなさんと実りある意見交換をさせていただきたい。



働く仲間の立場を原点に闘っていく

民主党代表代行
大島 章宏 衆議院議員

民主党は“人と暮らしに責任を持ち、働く仲間の立場に立っていく”という原点を大事にして、再出発した。このことを踏まえてこれから社会保障制度、年金問題、医療・介護、福祉、教育の充実をはかっている。とりわけ憲法改正問題は、平和を守る闘いだ。しっかりと奮闘していく。



高齢者への負担増に反対

社会民主党 政策審議会会長
吉田 忠智 参議院議員

小泉構造改革によって雇用・労働法制の規制緩和がすすみ格差と貧困が広がった。安倍自公政権は、そのことをまたやろうとしている。医療・介護の充実、年金改悪阻止で退職者連合と政策課題を共有し、高齢者への負担増をすべきでないという立場で連帯していきたい。



会場からの発言(要旨)

(発言順・敬称略)

憲法改悪と戦争に反対しよう

JR総連OB連絡会 田中栄六

3点ある。1点は、福島原発事故。OB連絡会の仲間8人が福島から北海道に移住生活せざるを得ず、生活権が奪われた。核と人間は共存できない。今一度3・11のとらえ返しを。2点目は年金問題、“年金をただ取りしている”という風潮は許せない。3点目は、平和問題。憲法改悪に反対し、声を大にして戦争に反対しよう。



組織拡大には地道な取り組みを

広島退連・事務局長 乃美友二郎

未組織の組織化は連合、地方連合会の協力が必要だ。広島退連は、連合広島執行委員会に出ている。広島では300人会員を増やした。未組織対策として連合広島に対して広島退連に未加入組織と話をする場を要請している。組織拡大で立派な方針が出ているが、問題はどのように実践していくかだ。地道に地味な運動をコツコツと繰り返していくことが組織拡大になる。



竹島問題で協力を

島根高退連・会長 若佐俊之

竹島問題を本部で取り上げてもらい感謝したい。8月30日に連合中国ブロック主催で竹島の領有権を求める集会を松江市で行う。ぜひご協力をお願いしたい。原発問題は、本部方針に賛成だ。原発をなくしていく方向でやっていきたい。



社会保障制度の将来をどうするか

神奈川シニア連合・会長 新田尊士

社会保障制度のあり方について参院選挙では、論議にもなっていない。今、すさまじい勢いで人口構成のひずみが起きている。支えられる側が増え、支える側がどんどん減っている。こうなったら5%の消費税では間に合わない。10年、30年経ったらどうするのか。



社会保障制度をどう維持していくのかが、退職者連合にも問われている。

退職者連合の地域組織強化を

福岡退連・事務局長 檀 勝樹

一つは組織拡大について。連合福岡と5月に現退対話をした。介護など地域における高齢者の課題にどう取り組んでいくか。地域の高齢者の参加をはかっていくことが大事であり、地域組織の強化が必要。福退連では7つの地域組織(地協)を作った。まだ親睦会の域をでていない。それを支えるため地協OB会づくりを進めている。2つ目は、低所得高齢独身女性問題について。具体的問題とは何か。体系的に取り組む中身とは何か。



介護問題について

佐賀退職者連合・会長 大島房雄

介護の問題について。今、どこに問題があるか、行政と話し合いを持った。その結果、なぜ介護保険料に差はあるのかが明らかとなった。原因は介護施設が多いところほど保険料が高いということだ。包括支援センターの業務を大きな病院の介護施設に行政が丸投げしている。その施設の人が介護支援計画策定委員にもなっている。もっと高齢者の代表が委員に参加すべきだ。そのため老人会との対話や全国的な運動にしてほしい。



年金問題で意見を出すべき

鉄道退職者の会 羽切信夫

2つの点について。1つは、公的年金の受給資格年齢の引き上げについて。2つ目は、年金基金問題について。退職者連合は意見を出すべきだ。



<本部答弁>* ()内は発言された方

- ①(田中さん)被災地の状況は発言の通り。退職者連合はこれからも忘れない運動を続けていきたい。平和問題も全くその通り。
②(乃美さん)組織拡大はコツコツ、小さいところから、というのはその通り。今、現職の皆さんとの

対話していただいている。現退対話をすすめていきたい。未組織対策は、連合と一体となっていくしかない。現役の地方連合会と連携してほしい。

③(若佐さん)その通りだ。

④(檀さん)組織拡大で地域の重要性はその通りだ。低所得高齢独身女性問題は深刻だ。男女平等参画委員会で検討していきたい。

⑤(新田さん)民主党の社会保障と税の一体改革が中途半端に終わったことが問題だ。財源問題の基本的な考え方は、まず社会保障と税の一体改革の方向性を明らかにすること、不公平税制の是正、それから消費税ならわかる。その際、現職だろうと退職者だろうと応能負担が原則だ。年金問題は、雇用制度と賃金制度を変えない限り抜本的改革にならない。

⑥(大島さん)連合と相談をしながら対応していきたい。

⑦(羽切さん)受給年齢引き上げは、雇用と連結できるのかが問題だ。これはひとえに現役・連合の問題だ。退職者連合の見解については、8月21日に社会保障改革国民会議の見解があるので、その中身を検討して対応していきたい。

<総会次第>

1. 開会
2. 議長団選出
3. 総会書記任命
4. 資格審査・議事運営委員選出
5. 会長あいさつ
6. 来賓あいさつ
(連合、民主党、社民党)
7. 資格・議運委員長報告
8. 総会成立宣言・議事運営確認
9. 2012年度経過報告
10. 2012年度一般会計・特別会計決算報告
・会計監査報告
11. 議事
 - ①第1号議案 2013年度運動方針
 - ②第2号議案 一般会計・特別会計予算
 - ③第3号議案 規約改正
 - ④第4号議案 役員改選
12. 総会宣言採択
13. スローガン採択
14. 新旧役員あいさつ
15. 総会議長退任・総会書記解任
16. 閉会

<退職者連合本部事務局・新スタッフ紹介>

みなさん、よろしくお願
します。



(名前) **菅井 義夫**

- ①役職 事務局次長
- ②担当 政策、企画、総務、財政、渉外
- ③所属 UAゼンセンシニア友の会

ご苦労様でした。

第17回定期総会でご退任された役員の方々。

これまでのご活動に感謝申し上げます。

- 前副会長 上田 京子さん(全国退女教)
- 奥村 修三さん(郵政退協)
- 前事務局次長 木村 寛さん(自治退)

<2013年度役員名簿>

(敬称略)

役職		名前	所属	役職		名前	所属
会長	再	阿部 保吉	林退会	幹事	再	佐藤 光雄	JR 連合退連
副会長	再	福田 利久	自治退	幹事	再	丸山 清	電機連合 OB 会
副会長	新	川島 靖	郵政退協	幹事	再	太田 敏夫	農水退
副会長	新	臼井百合子	全国退女教	幹事	再	井田 隆重	私鉄高退協
副会長	再	赤尾 卓美	UAゼンセンシニア友の会	幹事	再	平田 英男	全たばこ退職者の会
事務局長	再	羽山 治美	N労組退職者の会	幹事	再	園田 順子	全たばこ退職者の会
事務局次長	新	菅井 義夫	UAゼンセンシニア友の会	幹事	再	芦沢 春樹	全水退
事務局次長	再	林 道寛	連合本部	幹事	再	橋村 良夫	JAM シニアクラブ
幹事	再	川端 邦彦	自治退	幹事	再	青木 研一	PUC 退職者の会
幹事	新	野田那智子	自治退	幹事	再	吉田 鈴江	PUC 退職者の会
幹事	再	岩河 吉美	N労組退職者の会	幹事	再	柴田 哲夫	N退協
幹事	再	五十嵐 久	郵政退協	幹事	再	橋本 義雄	全印刷局退職者の会
幹事	再	高橋フミ子	郵政退協	幹事	新	小栗 啓豊	基幹労連退職者の会
幹事	新	竹田 邦明	日退教	幹事	再	唐澤 脩	全造船機械高退協
幹事	再	寺井 律子	日退教	幹事	再	原 隆二	セラミックス連合 OB 会
幹事	再	飯田 勉	鉄道退職者の会	幹事	再	北岡 孝義	総評 OB 会
幹事	再	小野美代子	退女教	幹事	再	宮崎 安基	東京高退連
幹事	再	須賀 章徳	日産労連エルダー	幹事	再	池田 捷治	神奈川シニア連合
幹事	再	石川 昇	林退会	会計監査	再	竹島 幸紀	全たばこ退職者の会
幹事	再	熊崎 清子	UAゼンセンシニア友の会	会計監査	再	西村 勲	N退協
幹事	再	古谷 徳重	都市交退協	顧問	再	眞柄 栄吉	元会長
幹事	再	大熊 勝明	JR 総連 OB 連絡会	顧問	再	須藤 義美	元事務局長



▼ヒト科・人類が、霊長類の頂点の座を、他のサル目(霊長類)に明け渡す日も近いのかもしれない。もとより文化・文明に限っていうなら、まだまだチンパンジーやオラウータンの追隨を許してはいない。▼がしかし、近年の世相をみれば、ヒトとしての知性に欠け、弱い者へのいたわりの心をもたず、物事の判断基準の中心には常に自分しかない「ヒトらしからぬ人」がやたらに多くなったようだ。▼倫理観なき経済活動に日本人の心が麻痺させられたのだと説く者もあれば、権利だけを強調しすぎた戦後教育のせいだと力説する向きもある。▼いずれにしても、似て非なるものを「もどき」という。ならば、姿かたちは完べきに人であっても、ヒトとしての知性や心を持たないそれらは、さしづめ「ヒトもどき」とでもいうべきだろう。▼もしも日本人がいま、そんな新種のサル目への分化の途を辿っているのなら、由々しき事態である。(菅井)